

参考情報

テレビ電話

高音質電話

データコネクの
ご利用にあたって



テレビ電話／高音質電話／データコネクト(データ通信) サービスの詳細

フレッツ 光クロス、フレッツ 光ネクスト、一部の「コラボ光」(FTTHアクセスサービス)、ビジネスイーサ ワイドをご契約で法人向けひかり電話サービスをご利用のお客さまに、加入電話品質相当の音声電話通信に加えて、「テレビ電話」「高音質電話」「データコネクト」を基本サービスとして提供いたします。

テレビ電話	音声・映像を利用したテレビ電話が利用できます。
高音質電話	高音質の音声通話が利用できます。
データコネクト	お使いの電話番号を利用して帯域確保型のデータ通信が利用できます。

チャンネルとメディアストリームについて

- 法人向けひかり電話サービスで利用する音声通話／テレビ電話／データコネクトの通信は、現在お使いの電話番号を用い、指定した接続先との間で「チャンネル」を確立することで通信を行います。
- 同時利用可能なチャンネル数は、ご契約のチャンネル数となります。
- 確立されたチャンネルの内部にデータを疎通させるため、常に1以上の「メディアストリーム」を確立することで通信を行います。

メディアストリームとは？

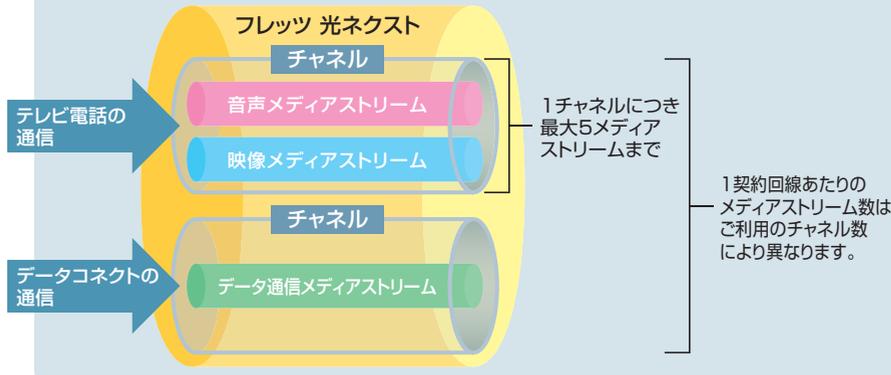
音声・映像・データの情報を送信側から受信側へ伝達するためのデータの流れを「メディアストリーム」といいます。

- 疎通可能なデータの内容に応じて、以下の3種類があります。

メディアストリームの種類	概要
音声メディアストリーム	音声データを疎通させるためのメディアストリームです。音声電話で用いる音声データや、テレビ電話の音声部分のデータを疎通させる場合などに利用します。
映像メディアストリーム	映像データを疎通させるためのメディアストリームです。テレビ電話サービスの映像部分のデータを疎通させる場合などに利用します。
データ通信メディアストリーム	音声・映像以外の多様なデータ通信を疎通させるためのメディアストリームです。データコネクトのデータを疎通させる場合などに利用します。

- 同時に利用できるメディアストリームの数の上限は、1チャンネルあたり最大5メディアストリームとなります。また、1契約回線あたりのメディアストリーム数は、ご利用のチャンネル数により異なります。

【法人向けひかり電話サービスにおける通信イメージ】



契約チャンネル数	1~8	9~32	33~100	101~300
同時利用メディアストリーム数(1アクセス回線あたり)	16	64	200	600

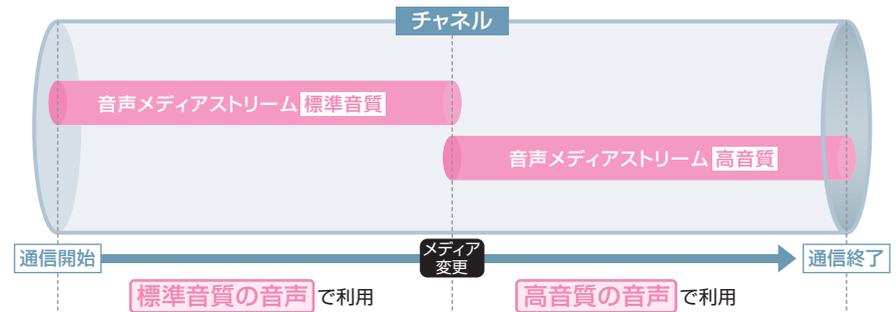
メディア変更について

メディア変更とは？

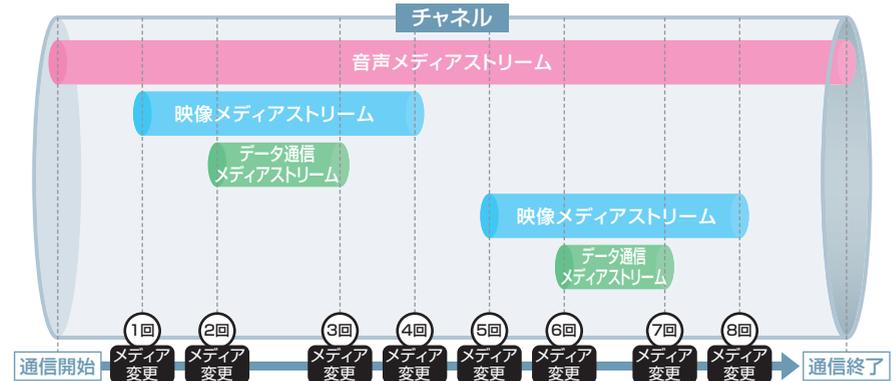
音声メディアストリーム／映像メディアストリーム／データ通信メディアストリームの通信の途中で、利用する通信内容や確保する帯域の変更を行うためにメディアストリームの追加・削除を行うことを「メディア変更」といいます*。

*メディア変更を行うためには、それに対応した端末を利用する必要があります。メディア変更は、発信側・着信側の双方から行うことができます。

【メディア変更の通信イメージ】



- メディア変更の回数は、最大8回まで実施可能です。



- メディアストリームを削除した場合も、メディア変更とみなされます。また、削除したメディアストリームを再度利用する場合もメディア変更となります。

「法人向けひかり電話サービス」とは、「ひかり電話オフィスタイプ」「ひかり電話オフィスA(エース)」「(いずれもIP電話サービス)を指します。

課金方法について

- 通話／通信料金は、通信種別と利用帯域ごとに以下の課金方法に基づいて発信者に課金します。

区分		通話・通信料金			
NTT西日本・NTT東日本の加入電話、INSネット、ひかり電話サービスおよび「コラボ光ひかり電話サービス」への通話 ^{※1}	ひかり電話 オフィスタイプ	標準音質電話		8.8円/3分	
		高音質電話		8.8円/3分	
	ひかり電話 オフィスA(エース)	音声通話 ^{※2}	プラン1	県内	6.6円/3分
				県間	11円/3分
		プラン2	県内	8.8円/3分	
			県間		
・テレビ電話 ・通話、データコネクト通信 同時利用		利用帯域2.6Mbpsまで	16.5円/3分		
		利用帯域2.6Mbpsを超える	110円/3分		
NTT西日本・NTT東日本のひかり電話サービスおよび「コラボ光ひかり電話サービス」への通信 ^{※1}	データコネクト ^{※3}	利用帯域～64Kbpsまで		1.1円/30秒	
		利用帯域～512Kbpsまで		1.65円/30秒	
		利用帯域～1Mbpsまで		2.2円/30秒	
		利用帯域～2.6Mbpsまで		16.5円/3分	
		利用帯域2.6Mbpsを超える		110円/3分	

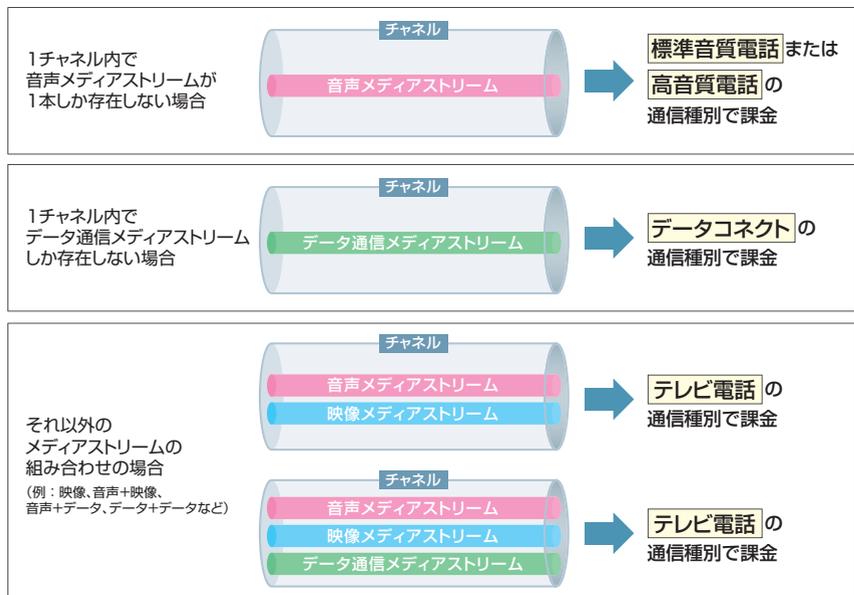
※1 通話・通信中に通信種別または利用帯域の変更があった場合には、同一の通信種別・利用帯域ごとに通話・通信時間の合計を算出し、該当する通話・通信料金を適用して料金計算します。

※2 高音質電話を含みます。

※3 データコネクト(データ通信)のみのご利用の場合、その通信はテレホンカードによる支払充当は対象外となります。

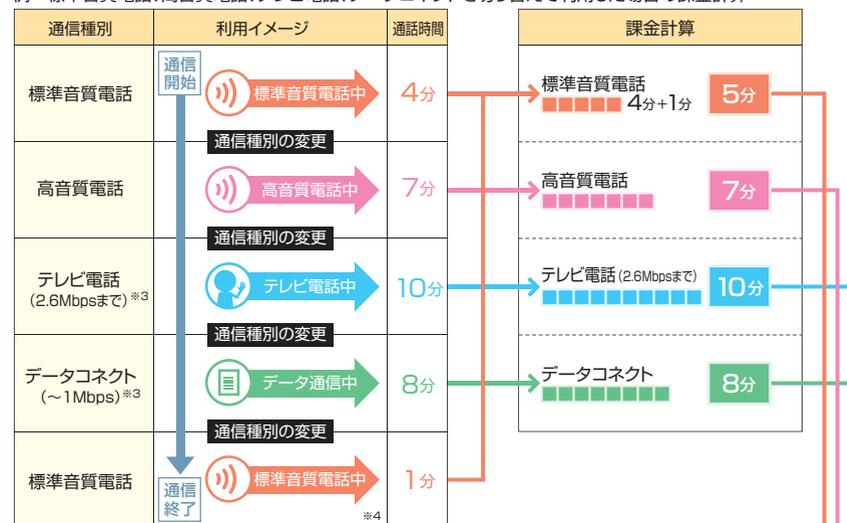
- メディアストリームと通信種別について

利用するメディアストリームとその組み合わせによって、通信種別の適用が異なります。



- 通話・通信中にメディア変更(通信種別または利用帯域の変更)があった場合^{※1}^{※2}は、同一の通信種別・利用帯域ごとに通話・通信時間の合計を算出し、該当する通話・通信料金を適用して料金計算します。

例：標準音質電話、高音質電話、テレビ電話、データコネクトを切り替えて利用した場合の課金計算



※1 通話・通信中にメディア変更(通信種別または利用帯域の変更)が可能なのは、フレッツ 光クロス、フレッツ 光ネクストの法人向けひかり電話サービスの通話のみとなります。FOMA[®]との通話中には行えません。

※2 通信種別を変更すると通話・通信料金も変更となります。利用帯域についても、帯域のしきい値(テレビ電話の場合の2.6Mbpsなど)をまたいで変更となれば通話・通信料金は変更となります。

※3 利用帯域によって通話・通信料金が異なります。また、利用帯域は端末に依存します。

※4 メディア変更は、発信側・着信側の双方から行うことができます。法人向けひかり電話サービス対応オフィスゲートウェイでは通信先からのメディア変更要求を許容するかどうかを設定することができます。

- Myビリング(会員サービス)の通話明細について

通話・通信中にメディア変更(通信種別または利用帯域の変更)があった場合の通話明細の表示は通信種別ごとに表示します。「通話開始時刻」欄には、当該通話の通話開始時刻を一律表示し、2行目以降の「通信種別」欄に「◎」を表示します。通話時間については、同じ通信種別を2回以上のご利用がある場合、合計した時間を表示します。

【Myビリングの通話明細イメージ】

通話月	通話日	通話開始時刻	発信元電話番号	通話先電話番号	通話先地域名	通話時間	通話料等	通信種別	割引種別
[NTT西日本ご利用分]									
11	4	19:30:00	06-0000-0000	03-1111-1111	東京	0:35:50	96		★
11	5	20:30:00	06-0000-0000	03-1111-1111	東京	0:05:00	16		★
11	5	20:30:00	06-0000-0000	03-1111-1111	東京	0:07:00	24	高音質◎	★
11	5	20:30:00	06-0000-0000	03-1111-1111	東京	0:10:00	60	映像等◎	★
11	5	20:30:00	06-0000-0000	03-1111-1111	東京	0:08:00	32	データ◎	
11	7	19:30:00	06-0000-0000	03-1111-1111	東京	0:35:50	96		
11	8	19:30:00	06-0000-0000	03-1111-1111	東京	0:35:50	96		
11	9	19:30:00	06-0000-0000	06-1111-1111	大阪	0:35:50	96		

「法人向けひかり電話サービス」とは、「ひかり電話オフィスタイプ」「ひかり電話オフィスA(エース)」「いずれもIP電話サービス」を指します。